

積水化学工業株式会社



2024年度（2025年3月期）

# 第1四半期 決算説明会

代表取締役 専務執行役員  
上脇 太

2024年7月31日

# 2024年度第1四半期実績および上期見通し

為替レート	2023年度		2024年度			
	1Q	上期	1Q	2Q	上期	期初計画 (4月)
社内前提	-	-	¥150/US\$ ¥161/€	¥157/US\$ ¥169/€	¥156/US\$ ¥168/€	¥150/US\$ ¥161/€
実績 *期中平均	¥137/US\$ ¥149/€	¥141/US\$ ¥153/€	¥156/US\$ ¥168/€	-	-	

※輸出は社内前提レート適用。為替感応度は社内前提レートで対USドル1円（円安）あたり営業利益+約5億円/年

- 増収。営業大幅増益
- 経常増益。最終利益は前年の政策保有株式売却益の影響大きく、微減益
- 売上高はほぼ計画通り。営業利益は計画を上回って進捗

★：過去最高値

(億円)	2023年度 1Q実績	2024年度 1Q実績	増減
売上高	2,854	★ 2,988	+134
営業利益	153	★ 202	+49
経常利益	222	★ 265	+44
親会社株主に帰属する 四半期純利益	241	237	▲4

# 2024年度第1四半期 セグメント別売上高・営業利益

■ 高機能Pは大幅増収増益。環境LLおよびメディカルも増収増益。住宅は減収も収益性強化策が着実に進捗し増益確保。全セグメントで営業増益、営業利益計画を上回って進捗

- ・高機能P\*：3分野とも増収増益。エレクトロニクス分野、インダストリアル分野において需要回復基調。為替差益効果もあり、大幅増収増益
- ・住宅\*：売上棟数減により減収も、主に構成改善、固定費削減、およびリフォーム事業の受注拡大により増益
- ・環境LL\*：国内非住宅市況は回復基調。売値改善の前倒し需要獲得もあり、増収増益
- ・メディカル：堅調な国内検査薬需要の獲得。創薬支援事業拡大、および欧米での検査試薬拡販により、増収増益
- ・その他：PV\*▲4億円、LB\*▲5億円、BR\*▲5億円、R&D他 ▲16億円

★：過去最高値

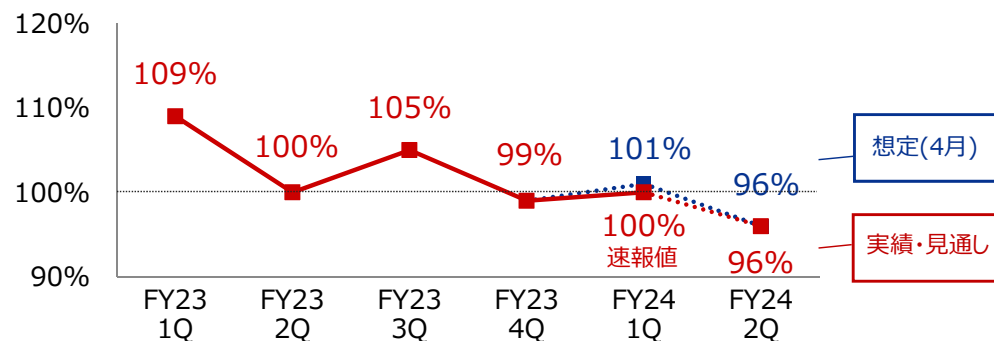
(億円)	2023年度 1Q実績		2024年度 1Q実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	961	99	★ 1,106	★ 147	+145	+47
住宅	1,210	40	1,162	49	▲48	+9
環境LL	513	34	★ 525	★ 35	+12	+2
メディカル	205	20	★ 223	23	+19	+4
その他	15	▲23	17	▲30	+2	▲6
消去又は全社	▲50	▲16	▲46	▲22	+4	▲6
合計	2,854	153	★ 2,988	★ 202	+134	+49

\*高機能P = 高機能プラスチックカンパニー \*住宅 = 住宅カンパニー \*環境LL = 環境・ライフラインカンパニー

\*PV = ペロブスカイト太陽電池プロジェクト \*LB = 定置型リチウムイオン電池事業 \*BR = バイオリファイナリー事業

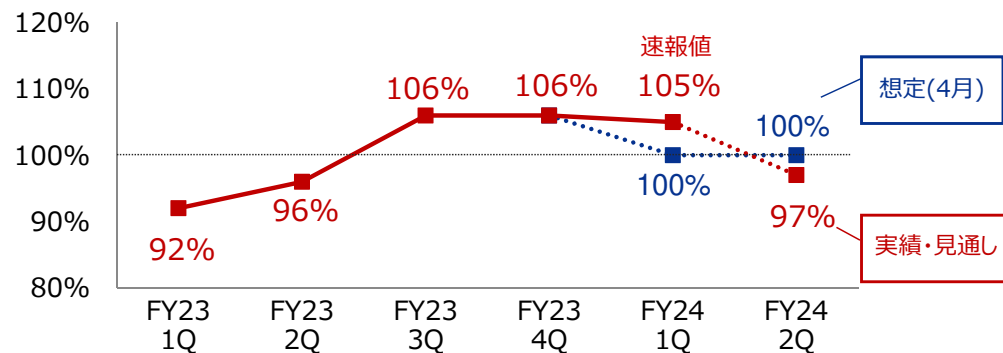
## グローバル自動車生産台数 (前年同期比)

1Qは想定をやや下回って推移。2Qは想定通りの見通し



## スマホ出荷台数 (前年同期比)

1Qは想定を上回って推移。2Qは想定をやや下回るも、上期では前年を上回る見通し



## 住宅・集客 (前年同期比)

24年度上期の展示場来店は前年減を見込むも、WEB等の資料請求増により集客全体では前年を上回る見通し

※[ ]内は想定(4月)

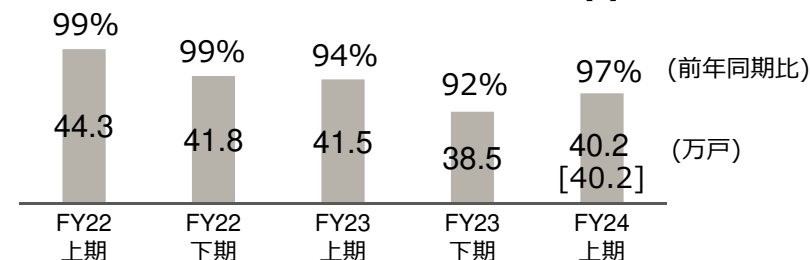
	FY23 1Q	FY23 上期	FY23 下期	FY24 1Q	FY24 上期
集客全体	98%	97%	100%	105%	105% [97%]
資料請求 (WEB等)	111%	108%	118%	119%	115% [98%]
展示場来店	85%	90%	95%	95%	96% [103%]

## 新設住宅着工

需要低迷継続。23年度下期を底に想定通り推移の見通し

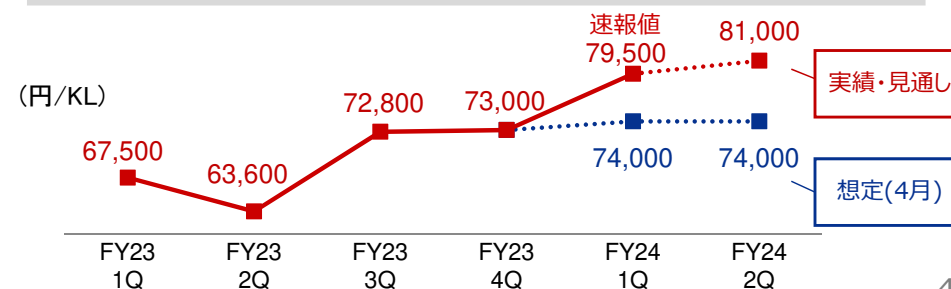
※環境LL各製品の需要発現：住宅着工後4~6ヶ月

※[ ]内は想定(4月)



## 国産ナフサ価格前提

1Qは想定を上回って推移。2Qは更に想定を上回って推移する見通し



# 2024年度上期見通し セグメント別

■ 一定の市況回復を見込み、住宅を除く3セグメントで増収。全セグメントで増益の見通し。  
主に為替差益、固定費抑制により、上期計画を上方修正

- ・高機能P：半導体関連ならびに建築・消費財の需要回復、高機能品拡販、および為替差益により、計画を上方修正
- ・住宅：売上棟数減影響を、引き続き固定費削減、およびリフォーム事業拡大によりカバーし、営業利益計画を上方修正
- ・環境LL：国内非住宅市況は回復基調。売値改善によるスプレッド確保を徹底し、計画を上回って営業増益の見通し
- ・メディカル：堅調な国内検査薬需要の獲得、米国での感染症検査キット拡販等により、計画を上回って営業増益の見通し
- ・その他：PV ▲7億円、LB ▲9億円、BR ▲11億円、R&D他 ▲32億円

★：過去最高値

(億円)	2023年度 上期実績		2024年度 上期見通し		増減		2024年度 上期計画 (4月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	2,003	230	★ 2,230	★ 272	+227	+42	2,192	263	+38	+9
住宅	2,648	130	2,551	135	▲97	+5	2,600	130	▲49	+5
環境LL	1,097	81	★ 1,143	★ 83	+47	+2	1,119	81	+24	+2
メディカル	437	51	★ 493	54	+56	+3	496	53	▲3	+1
その他	32	▲51	41	▲59	+9	▲8	42	▲60	▲1	+1
消去又は全社	▲103	▲29	▲101	▲37	+2	▲8	▲103	▲39	+2	+2
合計	6,113	412	★ 6,357	448	+244	+36	6,346	428	+11	+20

# 2024年度上期見通し（1Q、2Q別） セグメント別

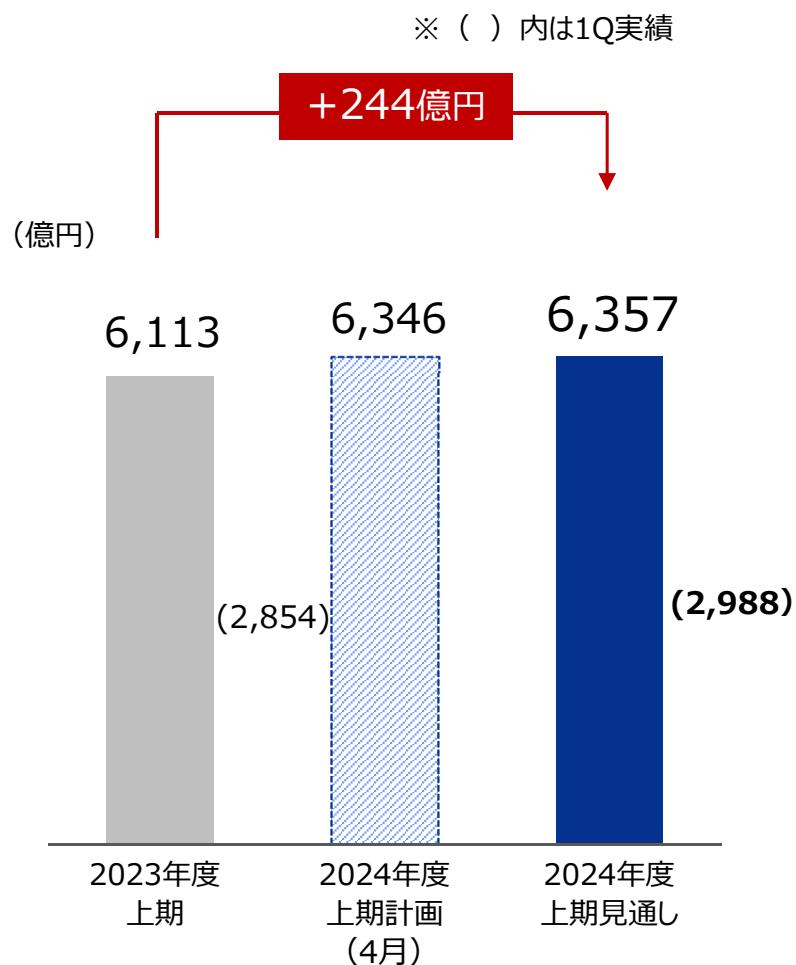
- 2Qは一定の需要回復を見込むも、主に売値改善による1Qでの前倒し需要発生、および原料高騰影響により、営業利益は前年および計画をやや下回って着地の見通し
- 上期は計画を上回る見通しにより、売上高、営業利益を上方修正

(億円)	2023年度 1Q実績		2024年度 1Q実績		増減		2023年度 2Q実績		2024年度 2Q見通し		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	961	99	1,106	147	+145	+47	1,042	130	1,123	125	+82	▲5
住宅	1,210	40	1,162	49	▲48	+9	1,438	90	1,389	86	▲50	▲3
環境LL	513	34	525	35	+12	+2	584	47	618	48	+34	+1
メディカル	205	20	223	23	+19	+4	232	32	270	31	+38	▲1
その他	15	▲23	17	▲30	+2	▲6	16	▲28	24	▲29	+8	▲2
消去又は全社	▲50	▲16	▲46	▲22	+4	▲6	▲53	▲13	▲55	▲15	▲2	▲2
合計	2,854	153	2,988	202	+134	+49	3,259	259	3,368	246	+109	▲13

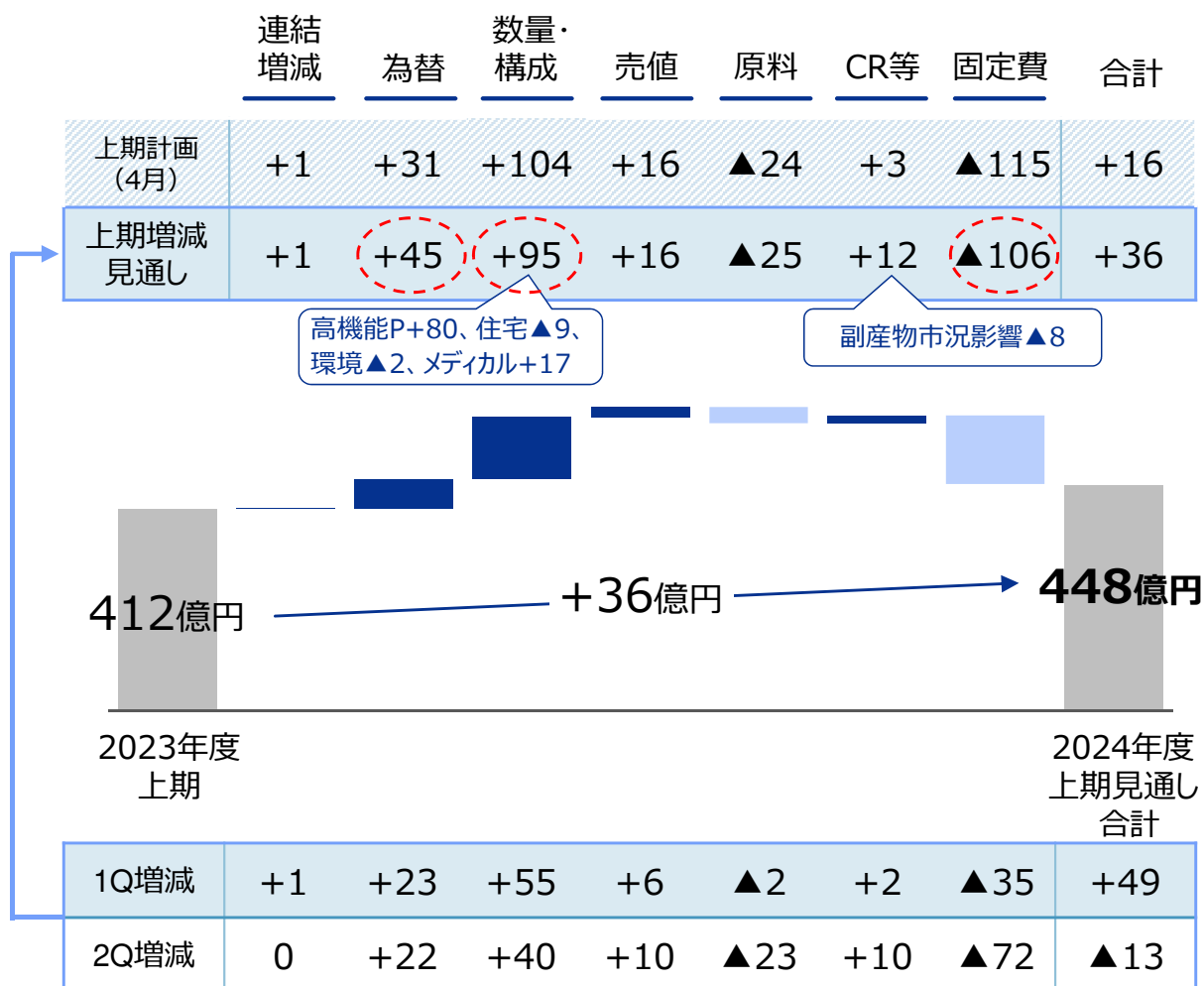
# 2024年度上期見通し 売上高・営業利益

■ 「数量・構成」は市況の緩やかな回復により前年対比で大幅増も、国内住宅市況の低迷長期化により、計画をやや下回る見通し。計画通りのスプレッド確保、および「CR等」、「固定費」抑制、「為替」差益により、計画を上回る増収増益を見込む

## 売上高



## 営業利益増減要因分析





# 2024年度上期見通し 損益概要

- 増収、営業増益
- 売上高、営業利益、経常利益、最終利益を計画から上方修正
- 中間配当は計画通り2円増配し、1株あたり37円の見通し

★：過去最高値

(億円)	2023年度 上期実績	2024年度 上期見通し	増減	2024年度 上期計画 (4月)	差異
売上高	6,113	★ 6,357	+244	6,346	+11
営業利益	412	448	+36	428	+20
経常利益	515	463	▲52	443	+20
親会社株主に帰属する 四半期純利益	445	395	▲50	380	+15
中間配当 (円/株)	35	★ 37	+2	37	0

# 2024年度見通し 損益概要

- 下期は為替変動リスクを織り込む
- 年度売上高、営業利益、経常利益、最終利益は計画通り

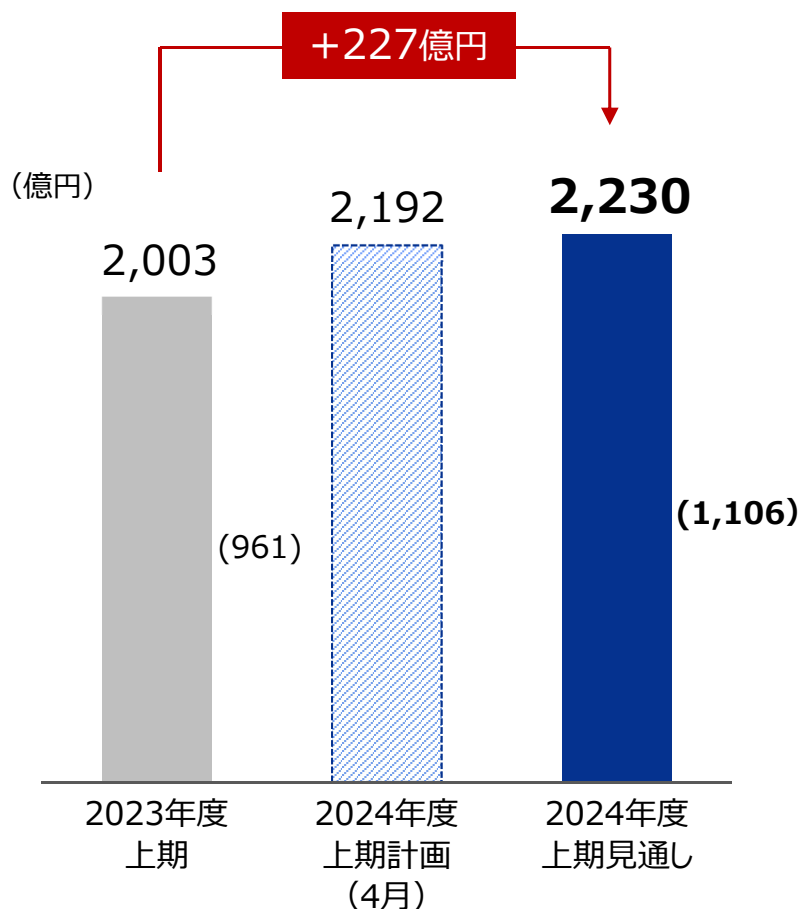
★：過去最高値

(億円)	2023年度 実績	2024年度 見通し	増減	2024年度 計画 (4月)	差異
売上高	12,565	★ 13,267	+702	13,267	0
営業利益	944	★ 1,020	+76	1,020	0
経常利益	1,059	1,025	▲34	1,025	0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	779	★ 780	+1	780	0
年間配当 (円/株)	74	★ 75	+1	75	0

- 半導体関連ならびに建築・消費財の需要回復、および高機能品拡販により、「数量・構成」大幅増。増収増益を見込む
- 主に「為替」差益効果により計画を上回り、上期最高益更新の見通し

## 売上高

※ ( ) 内は1Q実績



## 営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計	
上期計画 (4月)	0	+23	+85	▲7	▲8	0	▲59	+33	
上期増減見通し	0	+34	+80	▲12	▲10	+9	▲59	+42	
<p>エレクトロニクス+20、モビリティ+49、インダストリアル+11</p> <p>副産物市況影響▲8、CR+17</p>									
2023年度 上期								230億円	
								+42億円	
2024年度 上期見通し								272億円	
								限界利益 +67億円	
1Q増減	0	+18	+60	▲11	+3	+3	▲26	+47	
2Q増減	0	+16	+20	▲1	▲13	+6	▲33	▲5	

1Q前倒し出荷による2Qへの影響：  
エレクトロニクス▲5、モビリティ0、インダストリアル▲4

## 戦略3分野の売上高推移と重要指標

成長牽引事業 中期経営計画Drive 2.0  
における現有PF強化として  
成長期待事業 明確化した11事業を表示

### エレクトロニクス

エレクトロニクス  
(半導体・ディスプレイ材料)

- スマホ、半導体を中心とした需要回復により、非液晶分野が着実に伸長する見通し
- 半導体向け工程材の生産能力増強、および台湾R&D拠点新設の投資を決定

### モビリティ

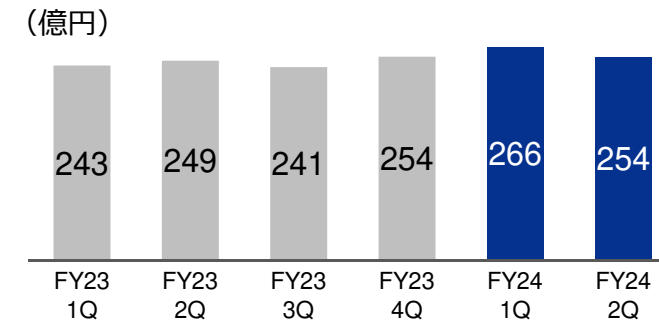
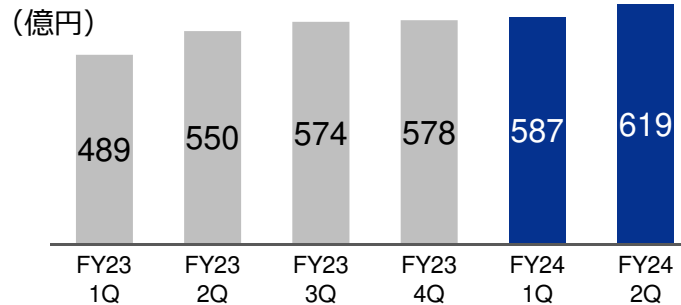
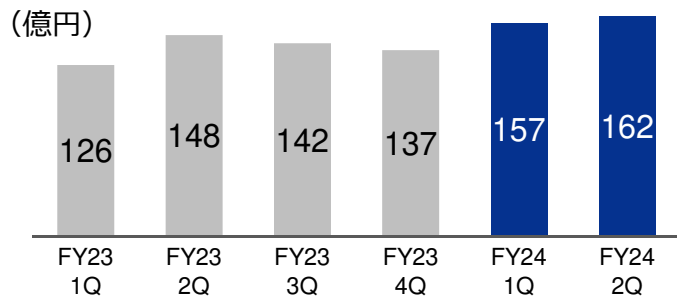
モビリティ  
(高機能中間膜・放熱等)

- 中国市況悪化によりHUD向けを中心にN-HPP販売量は計画を下回る見通しも、着実に伸長（HUD向け上期100%超\*販売量ベース）
- N-HPP需要の拡大を見込みタイ工場における生産能力増強投資を決定
- 放熱材料は電装向け拡販が順調に推移
- Aerospace社：一部航空機需要の低調継続

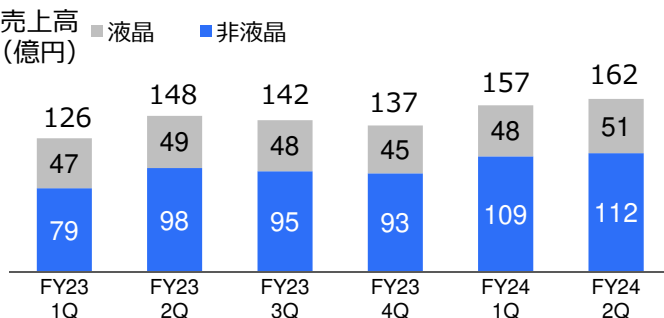
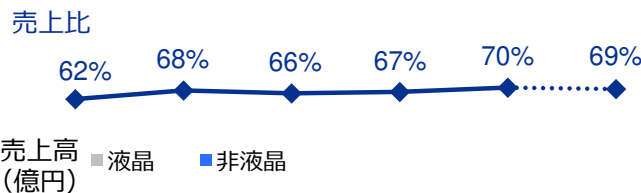
### インダストリアル

センシング・  
成型品

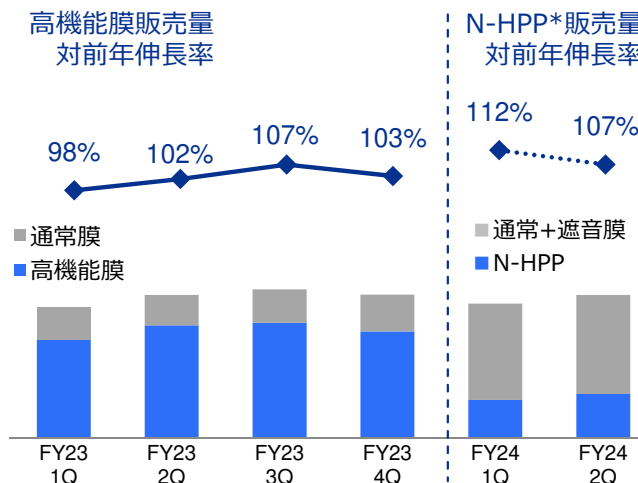
- 北米および国内の建築・消費財需要が回復基調
- 1Qは売値改善前の前倒し需要を獲得
- 引き続き「省力化・環境対応製品」拡販に注力



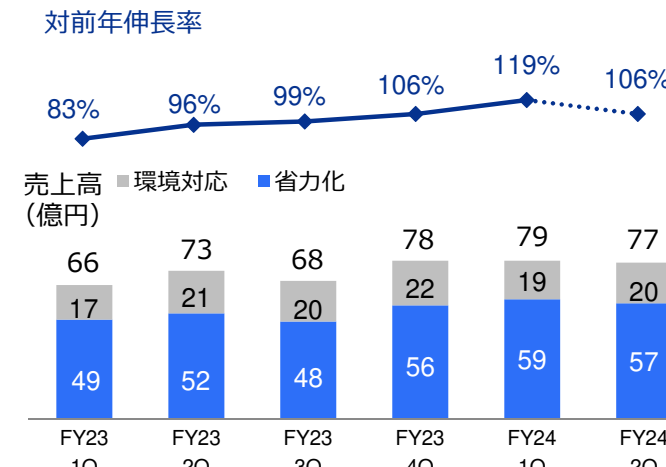
### 【非液晶分野注力】



### 【高機能中間膜拡販】



### 【省力化・環境対応製品拡販】

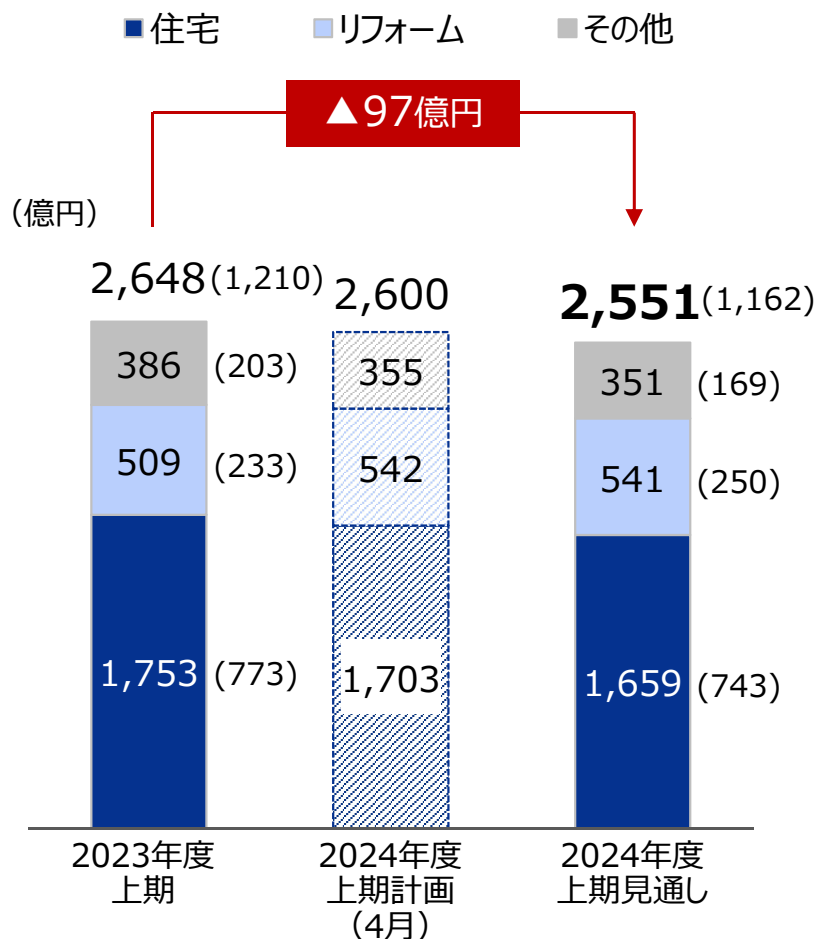


\* N-HPP：New高機能膜。従来の高機能膜から遮音膜を除き、それ以外のHUD、遮熱、カラー/デザイン膜を総称するもの

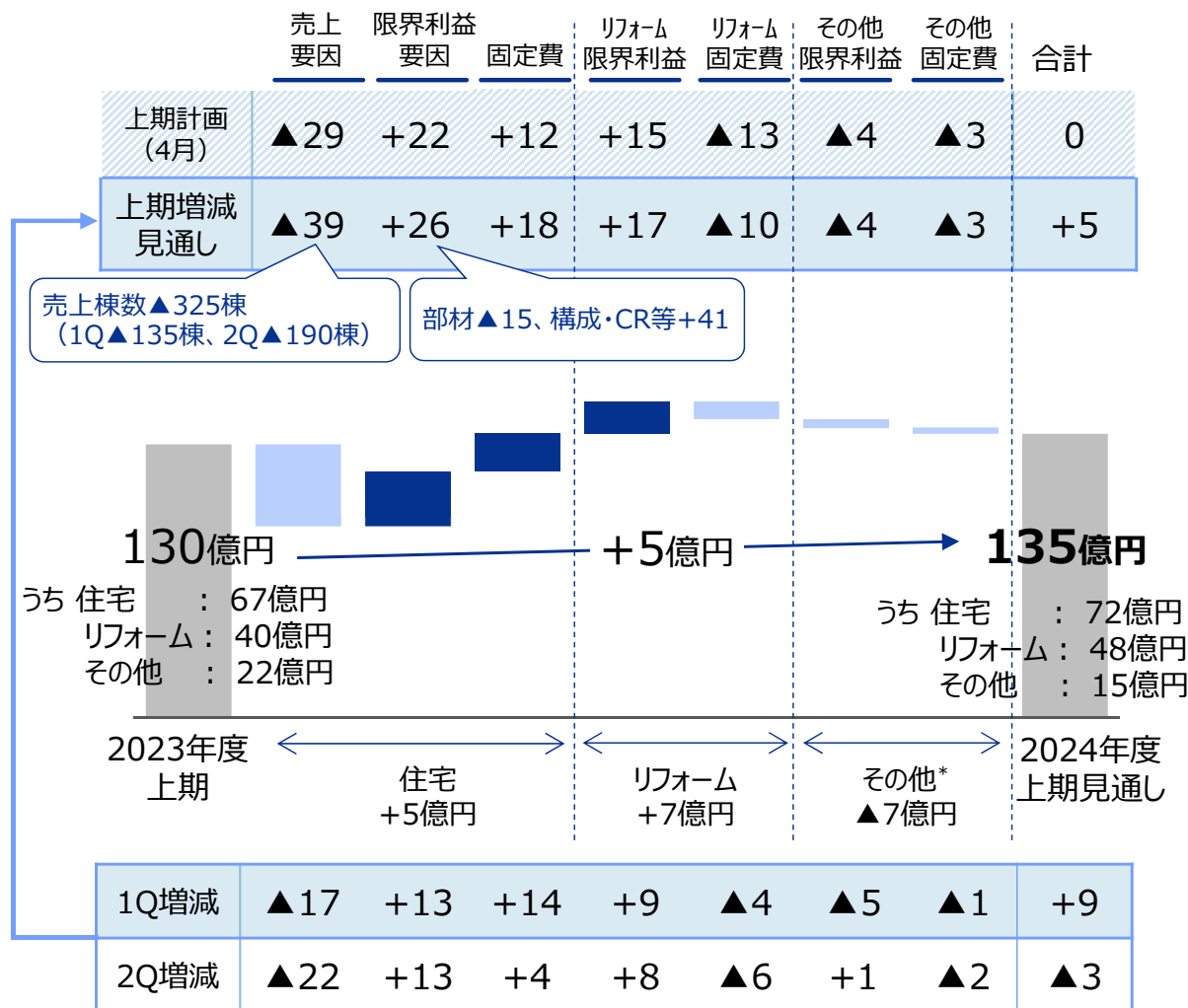
- 1Qは売上棟数減により減収も、主に「構成・CR等」・「固定費」削減、およびリフォーム事業の受注拡大により増益確保
- 上期は売上棟数減影響を、引き続き「固定費」削減、およびリフォーム事業拡大によりカバー。「収益性強化策」が着実に進捗し、営業利益計画を上方修正

## 事業別売上高

※ ( ) 内は1Q実績



## 営業利益増減要因分析



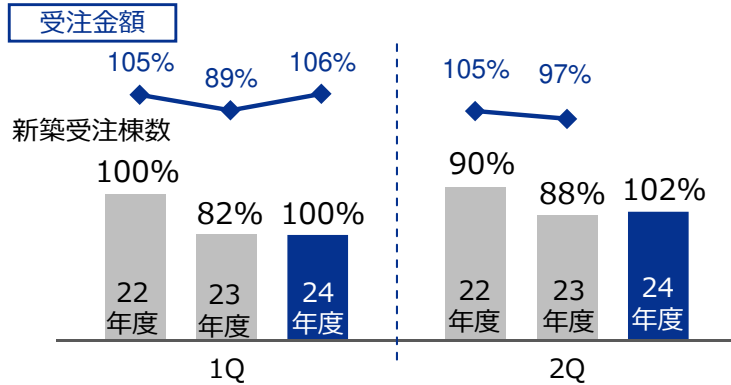
\* その他 (不動産・まちづくり・海外・住生活・でんき)

## 住宅事業

### 新築受注

(前年同期比)

- 受注棟数は地域差あるも、計画通り進捗。(上期101%)
- 都市部需要回復により受注金額は前年を上回って推移



### 建築種別受注棟数

(前年同期比)

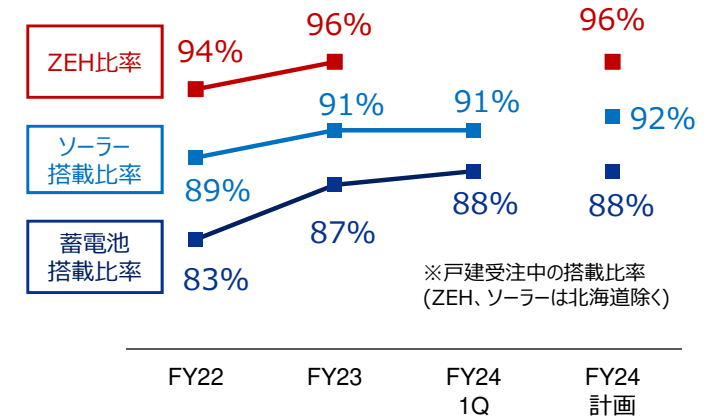
- 1Qは都市部を中心に建替が回復
- 2Q以降も引き続きエリア別商品展開に注力

戸建	建築種別	1Q実績 2Q 上期見通し		
		1Q実績	2Q	上期見通し
戸建	建替	105%	104%	105%
	*1新築	99%	104%	101%
	自社分譲	99%	96%	97%
	うち建売	97%	91%	94%
集合		94%	105%	100%
トータル		100%	102%	101%

\*1 土地 施主手配

### スマートハウス関連指標\*

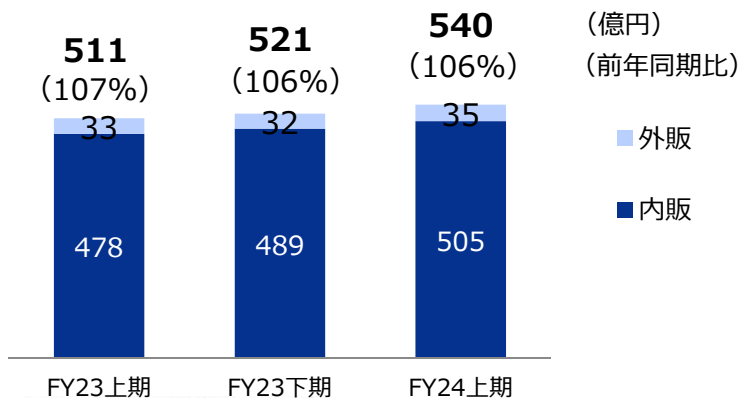
- 各指標とも堅調に進捗。棟単価UPにも貢献



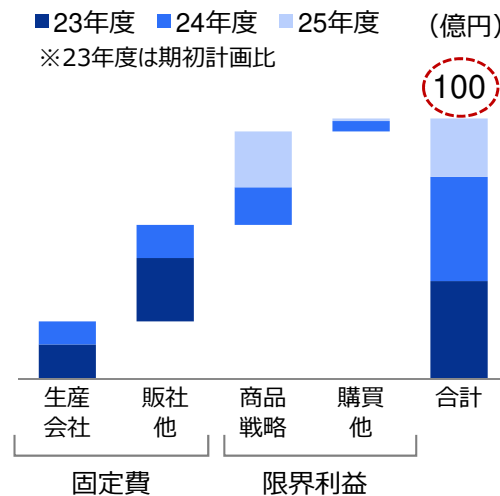
## リフォーム事業

### リフォーム受注高

- 営業体制強化により受注が順調に拡大
- 定期診断充実化による大型改装提案に注力

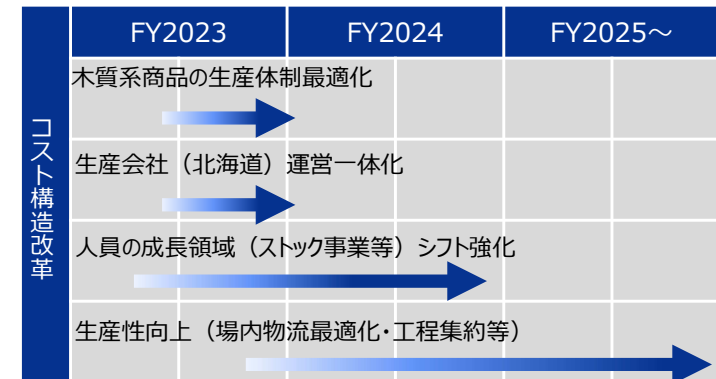


### 強化策の効果目標 (住宅事業のみ)



## 持続的成長に向けた収益性強化策・進捗状況

### 1) コスト構造改革ロードマップ



### 2) 販促強化

- ローカルエリアでの集合、平屋拡販強化
- 展示場リニューアル・機能強化、WEB広告展開

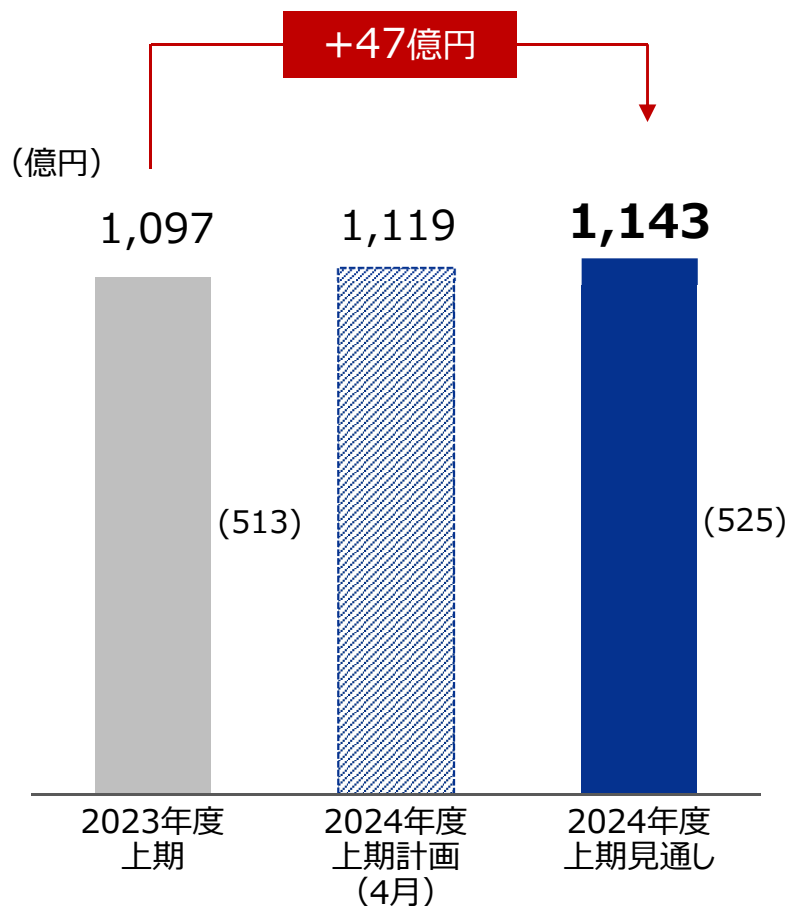
国内非住宅市況は回復基調。「売値」改善によるスプレッド確保を徹底し、増収増益。上期最高益更新を見込む

- 国内：重点拡大製品の拡販に注力。スプレッド確保を徹底
- 海外：塩素化塩ビ樹脂（CPVC）インド需要は2Qより回復を見込む。管路更生（SPR）は新規物件獲得に注力

\*重点拡大製品：高付加価値、かつ市場成長・代替が見込める製品

## 売上高

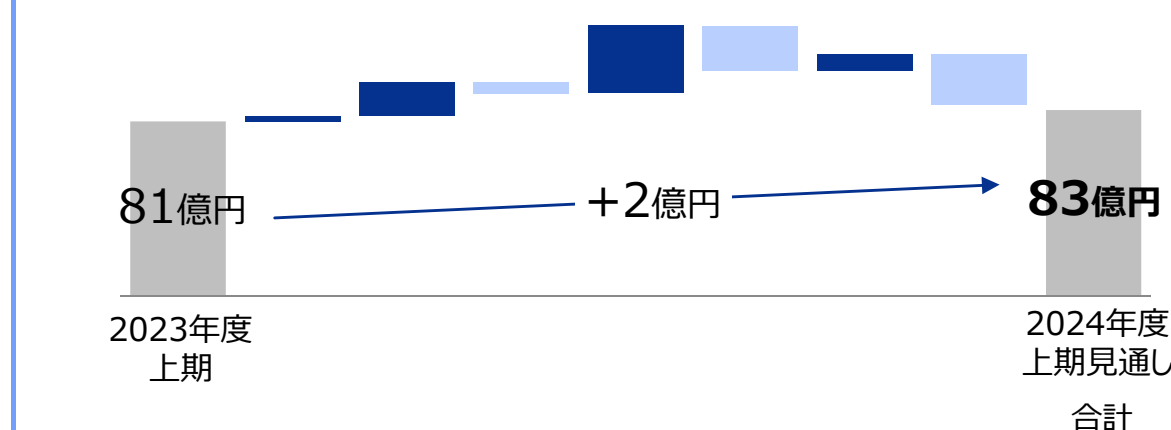
※（ ）内は1Q実績



## 営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	数量・構成	売値	原料	CR等	固定費	合計
上期計画 (4月)	+1	+4	+1	+8	▲7	+3	▲9	0
上期増減見通し	+1	+6	▲2	+12	▲8	+3	▲9	+2

物流費▲5



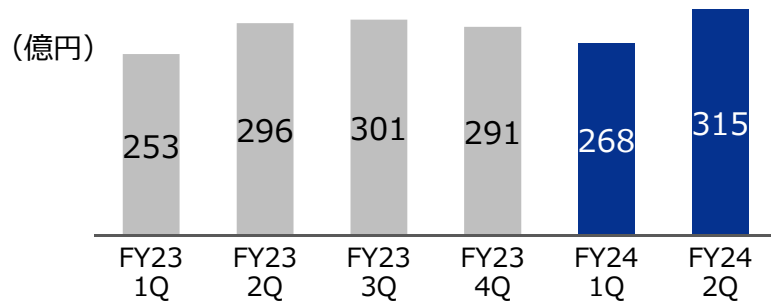
1Q増減	+1	+3	0	+3	▲2	▲1	▲2	+2
2Q増減	0	+3	▲2	+9	▲6	+4	▲7	+1

## 戦略3分野の売上高推移と重要指標

### パイプ・システムズ

建築・  
プラント配管材

- 管材群：非住宅市況は回復基調。信越ポリマー管材事業譲り受け（23年11月）効果により数量増。1Qは売値改善前の前倒し需要を獲得
- プラント管材：国内堅調も、中国・韓国での設備投資需要低迷
- CPVC：インドで需要減影響受けるも、2Qより回復を見込む

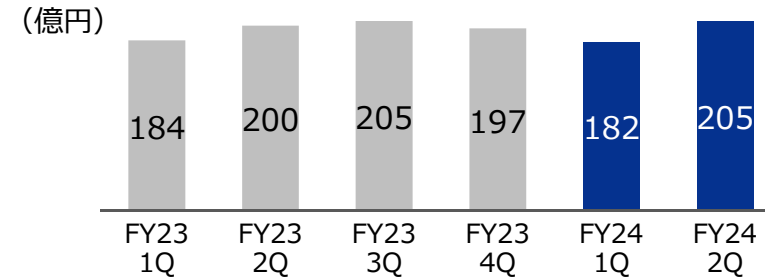


### 住・インフラ複合材

耐火・  
不燃材料

機能材  
(鉄道枕木等)

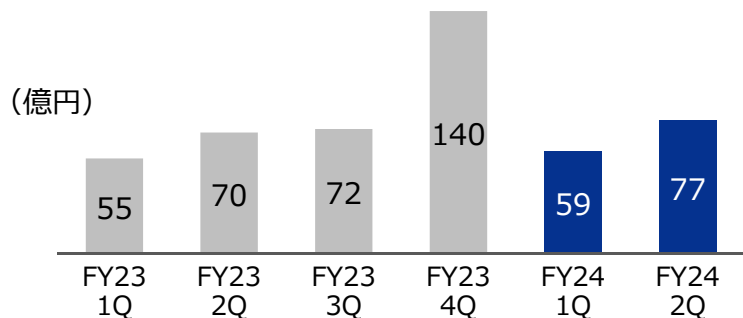
- 共通：国内住宅向け製品の1Q販売は低調
- 耐火/不燃材料：新規採用拡大が着実に進捗
- FFU：欧州工場安定稼働。国内土木物件遅延
- 建材・ホームテクノ：重点拡大製品（大型高排水システム、介護浴室wells等）の拡販堅調



### インフラ・リニューアール

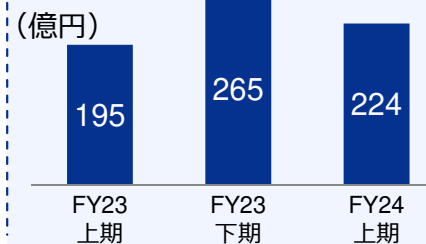
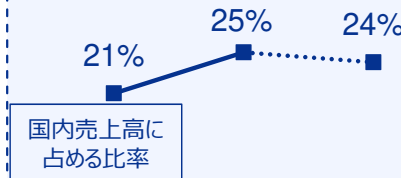
管路更生

- 管路更生：（国内）需要は安定的に推移  
（海外）北米・南米・アジアでの新規受注獲得
- アクアシステム：給水タンクリニューアル需要増。  
災害復旧需要の取り込み



### 【重点拡大製品売上高(国内)】

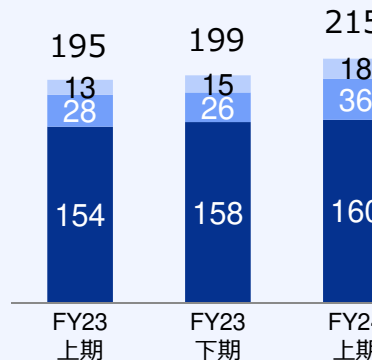
- PE管、wells、SPR中心に伸長を見込む



### 【海外地域別売上高】

- アジア(CPVC)、欧州(FFU)、北米(SPR)を中心に伸長を見込む

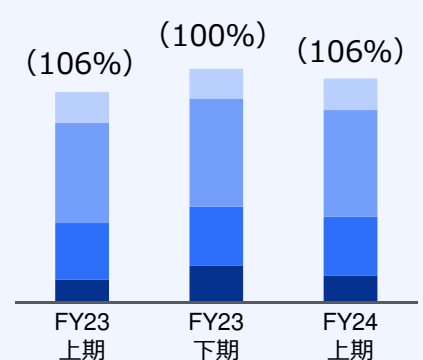
■ アジア他 ■ 欧州 ■ 北米



### 【成長牽引事業売上高】

- 管路更生 ■ 耐火・不燃材料
- 建築・プラント配管材
- 機能材（鉄道枕木等）

( ):前年同期比



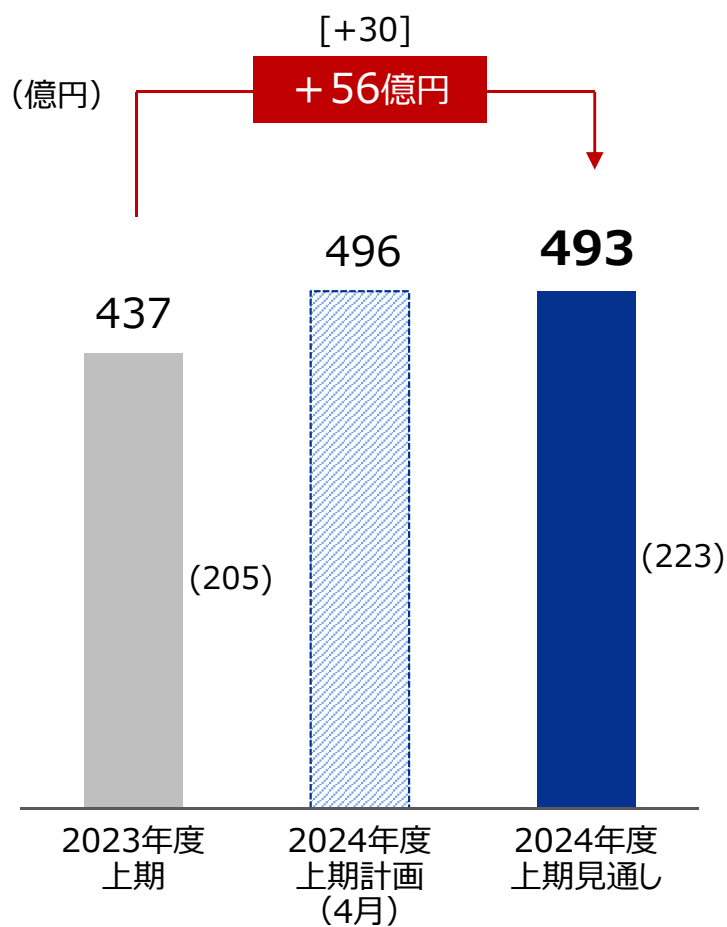
\*国内製品輸出含む



■ 堅調な国内検査薬需要の獲得、米国でのインフルエンザおよびCOVID-19検査キット等の拡販、中国における血液凝固機器・試薬拡販により、増収増益。営業利益計画を達成する見通し

## 売上高

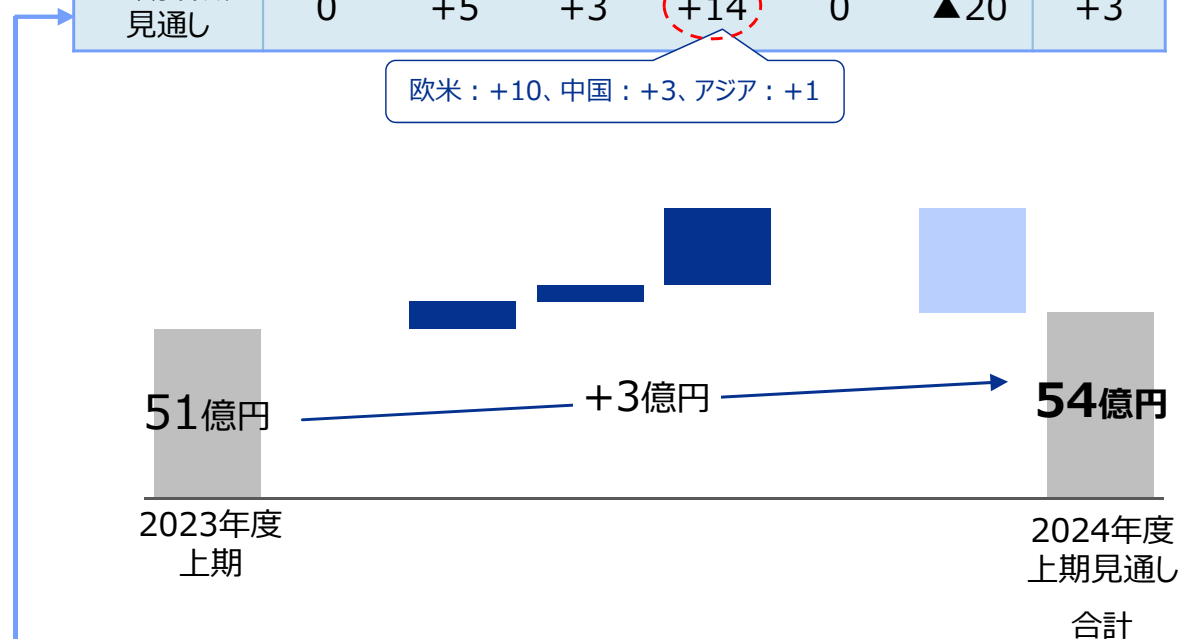
※ [ ] 内はFLU・COVID-19検査キット除く  
 ※ ( ) 内は1Q実績



## 営業利益増減要因分析

	連結増減	為替	検査国内	検査海外	医療他	固定費	合計
上期計画 (4月)	0	+5	+4	+14	0	▲22	+2
上期増減見通し	0	+5	+3	+14	0	▲20	+3

欧米: +10、中国: +3、アジア: +1



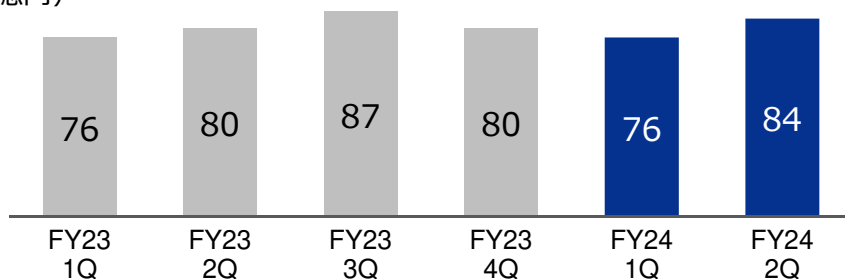
	1Q増減	2Q増減
連結増減	0	0
為替	+2	+3
検査国内	+2	+1
検査海外	+4	+10
医療他	▲1	+1
固定費	▲4	▲15
合計	+4	▲1

## 事業別の売上高推移と重要指標

### 検査国内

- 1 Q : 堅調な国内検査需要を着実に獲得
- 2 Q : 新規受注獲得に注力

(億円)



### 検査海外

### 海外検査システム

- 1 Q : 米国での特殊要因\*影響が解消し感染症検査キット拡販に注力。大手顧客向け販売の前倒し等により増収
- 2 Q : 米国での新製品、および中国での血液凝固検査機器・試薬の拡販に注力

\* 有力代理店におけるサイバー攻撃被害による出荷停滞

(億円)

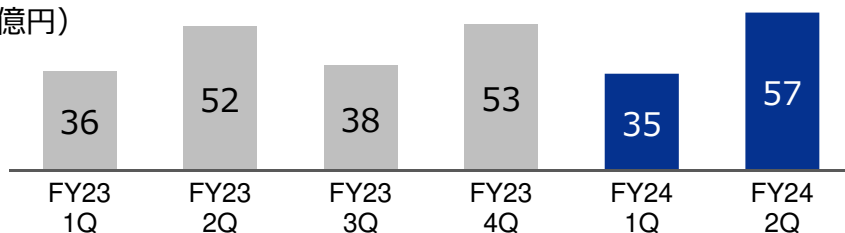


### 医療 (医薬・創薬支援・酵素)

### 医療(CDMO)

- 1 Q : 創薬支援事業は堅調も、酵素事業にて一部納入遅延
- 2 Q : 新規受注獲得に注力

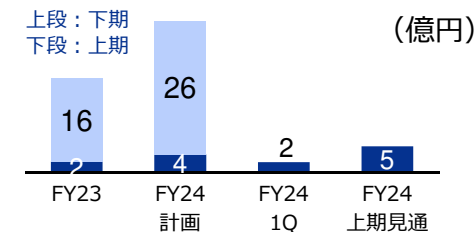
(億円)



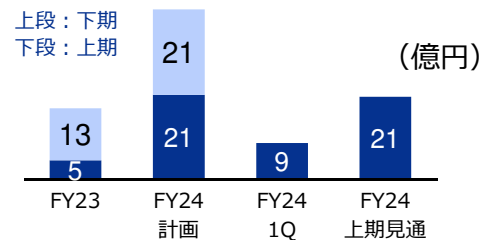
## 感染症検査キット売上高推移

### インフルエンザ

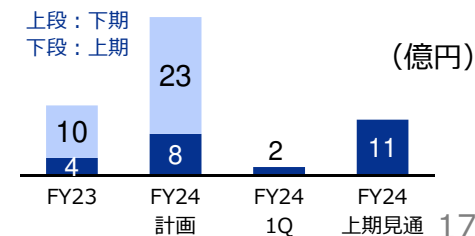
- 上期は想定を上回るインフルエンザ検査需要の見込み
- FLU/COVID-19コンボ検査キット拡販に注力



### COVID-19



### FLU/COVID-19



# 2024年度第1四半期 決算内容

---

## 連結対象会社数

	2024年3月末	2024年6月末	増減
連結会社	143社	146社	増加 3社 <sup>*1</sup> 減少 0社
持分法会社	6社	6社	増加 0社 減少 0社

\*1 甲府積水産業（株）、東積加工（株）、四積化工（株）

## 連結会社増減等による影響等

	2024年度1Q (前年比)	増減
売上高	▲4億円	山陰セキスイ商事（株） <sup>*2</sup> 甲府積水産業（株） <sup>*3</sup>
営業利益	0億円	東積加工（株） <sup>*3</sup> 四積化工（株） <sup>*3</sup>

\*2 2023年度第2四半期中より連結除外

\*3 2024年度第1四半期中より新規連結

# 損益概要

(億円)	2023年度1Q	2024年度1Q	増減	
売上高	2,854	2,988	+134	為替差益 +44
売上総利益	876	961	+85	為替差益 +46
売上総利益率	30.7%	32.2%	+1.5%	
販売費および一般管理費	723	759	+36	
営業利益	153	202	+49	
持分法投資損益	4	▲2	▲6	
その他営業外損益	65	66	0	株式売却益 +79
経常利益	222	265	+44	
特別利益	137	79	▲58	
特別損失	3	2	▲1	
税引前利益	356	342	▲14	
法人税等	111	101	▲10	
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	4	0	
親会社株主に帰属する四半期純利益	241	237	▲4	
為替レート (期中平均)	米ドル	137円	156円	
	ユーロ	149円	168円	

# 貸借対照表 -資産-

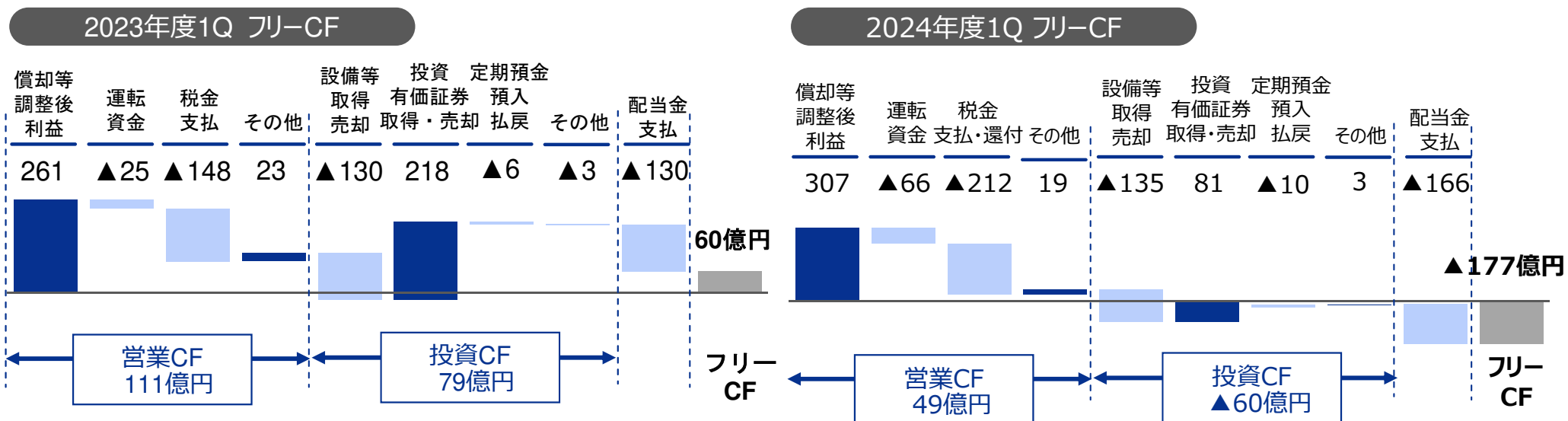
(億円)	2024年 3月末	2024年 6月末	増減																												
現金及び預金	1,386	1,074	▲312																												
売上債権	2,135	2,040	▲94																												
棚卸資産	2,982	3,103	+120	<table border="1"> <thead> <tr> <th>棚卸資産 (B/S科目)</th> <th>2024年 6月末</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建売住宅 (製品)</td> <td>352</td> <td>▲28</td> </tr> <tr> <td>造成済土地 (分譲土地)</td> <td>667</td> <td>▲10</td> </tr> <tr> <td>造成中土地 (仕掛品)</td> <td>104</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>工事中住宅 (仕掛品)</td> <td>378</td> <td>+70</td> </tr> <tr> <td>部材等 (原材料)</td> <td>66</td> <td>+3</td> </tr> <tr> <td>住宅計</td> <td>1,568</td> <td>+35</td> </tr> <tr> <td>非住宅計 (製品等)</td> <td>1,535</td> <td>+85</td> </tr> <tr> <td>棚卸資産計</td> <td>3,103</td> <td>+120</td> </tr> </tbody> </table>	棚卸資産 (B/S科目)	2024年 6月末	増減	建売住宅 (製品)	352	▲28	造成済土地 (分譲土地)	667	▲10	造成中土地 (仕掛品)	104	0	工事中住宅 (仕掛品)	378	+70	部材等 (原材料)	66	+3	住宅計	1,568	+35	非住宅計 (製品等)	1,535	+85	棚卸資産計	3,103	+120
棚卸資産 (B/S科目)	2024年 6月末	増減																													
建売住宅 (製品)	352	▲28																													
造成済土地 (分譲土地)	667	▲10																													
造成中土地 (仕掛品)	104	0																													
工事中住宅 (仕掛品)	378	+70																													
部材等 (原材料)	66	+3																													
住宅計	1,568	+35																													
非住宅計 (製品等)	1,535	+85																													
棚卸資産計	3,103	+120																													
その他流動資産	353	351	▲2																												
有形固定資産	3,925	4,020	+95	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>取得 +131、減価償却 ▲108、 為替 +78</td> </tr> </tbody> </table>	取得 +131、減価償却 ▲108、 為替 +78																										
取得 +131、減価償却 ▲108、 為替 +78																															
無形固定資産	591	595	+4																												
投資有価証券	1,274	1,204	▲70	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>売却・償還 ▲90 時価評価 +25</td> </tr> </tbody> </table>	売却・償還 ▲90 時価評価 +25																										
売却・償還 ▲90 時価評価 +25																															
投資その他の資産	587	586	▲1																												
資産合計	13,232	12,972	▲260	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>為替影響 +225 実質 ▲486</td> </tr> </tbody> </table>	為替影響 +225 実質 ▲486																										
為替影響 +225 実質 ▲486																															

# 貸借対照表 -負債・純資産-

(億円)	2024年3月末	2024年6月末	増減	
無利子負債	3,816	3,552	▲264	
有利子負債	1,207	1,136	▲72	
(ネット有利子負債)	(▲178)	(62)	+240	
負債合計	5,023	4,688	▲336	
資本金等	2,086	2,086	0	
利益剰余金	5,019	5,021	+1	当期純利益 +237
自己株式	▲487	▲502	▲15	配当金支払 ▲165
有価証券評価差額金	512	467	▲45	自己株式消却 ▲72
非支配株主持分	286	297	+11	
その他純資産	792	916	+124	消却 +72
純資産合計	8,209	8,284	+75	取得 ▲89
負債・純資産合計	13,232	12,972	▲260	為替換算調整勘定 +143
自己資本比率	59.9%	61.6%	+1.7%	
D/Eレシオ(ネット)	▲0.02	0.01	+0.03	

(億円)	2023年度1Q	2024年度1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	111	49
投資活動によるキャッシュ・フロー	79	▲60
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲233	▲347
現金及び現金同等物の増減額	▲8	▲329
フリーキャッシュ・フロー = 営業活動CF + 投資活動CF - 配当金支払	60	▲177

(億円)	2023年度末	2024年度1Q
現金及び現金同等物の期末残高	1,264	935





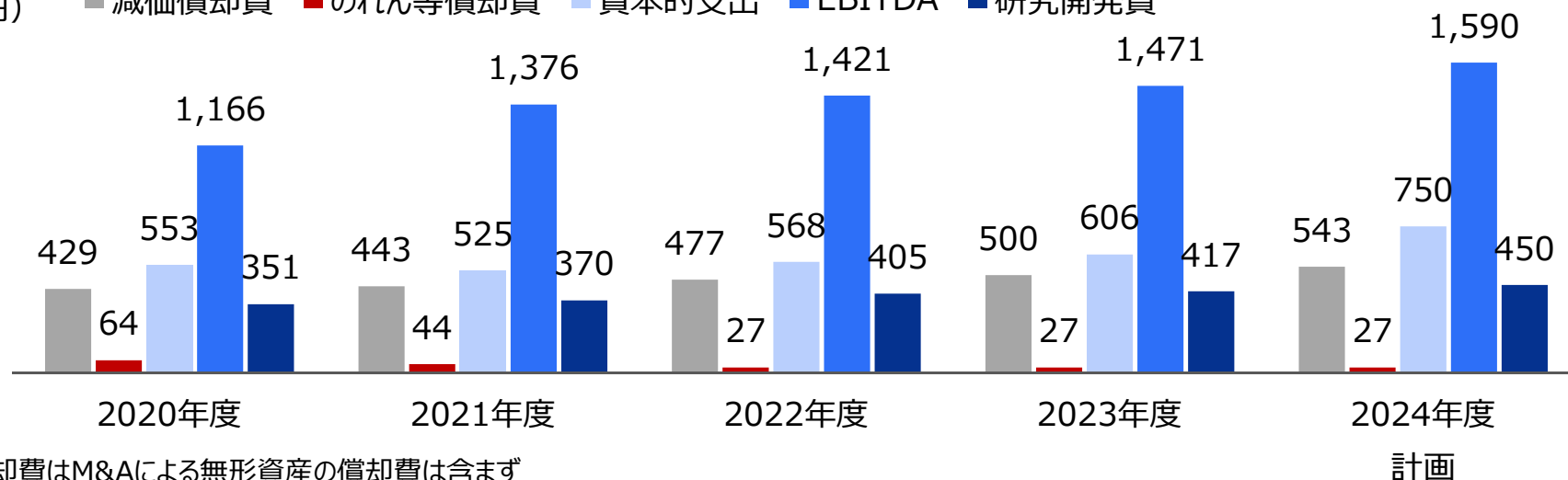
# 減価償却費・資本的支出・研究開発費

★：過去最高値

(億円)	2023年度 1Q	2024年度 1Q	増減	2023年度 通期	2024年度 通期計画	増減
減価償却費*1	119	124	+6	500	543	+43
のれん等償却費*2	6	7	0	27	27	0
資本的支出	172	137	▲35	606	750	+144
EBITDA*3	278	★ 333	+55	1,471	★ 1,590	+119
研究開発費	99	105	+6	417	450	+33

## 減価償却費・資本的支出・研究開発費推移

(億円) ■ 減価償却費 ■ のれん等償却費 ■ 資本的支出 ■ EBITDA ■ 研究開発費



\*1 減価償却費はM&Aによる無形資産の償却費は含まず

\*2 のれん等償却費 = のれん償却費+M&Aによる無形資産の償却費

\*3 EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん等償却費

スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。

\* 本資料の億円表記の数値に関しては、億円未満を四捨五入で表示しています。

# 住宅カンパニー実績・見通しについて

1. 住宅事業の主要データ		2024年度		2023年度		
		1Q	上期見通し	1Q	上期	
					下期	
連結	売上高 (億円)	1,162	2,551	1,210	2,648	2,649
	住宅	742	1,659	773	1,753	1,727
	リフォーム	250	541	233	509	524
	その他	170	351	203	386	399
	不動産	136	280	130	273	292
	住生活サービス	17	35	18	36	37
	まちづくり	14	29	49	61	59
	海外	3	7	2	6	8
その他	1.販売棟数 (棟)	1,865	4,420	2,005	4,675	4,485
	戸建	1,785	4,150	1,915	4,400	4,070
	請負	1,525	3,600	1,655	3,745	3,480
	建売	260	550	260	655	590
	アパート等	80	270	90	275	415
	2.主なデータ					
	単価<全国販社・戸建> (百万円)	36.4	-	34.7	34.8	35.7
	坪単価<全国販社・戸建> (万円)	107.5	-	100.5	101.0	103.9
	床面積<全国販社・戸建> (㎡)	111.6	-	113.8	113.7	113.3
	展示場数(棟)	-	400	-	430	404
営業人員数(人)	2,439	2,367	2,543	2,451	2,241	

# 住宅カンパニー実績・見通しについて

2. 受注状況等		2024年度		2023年度			2022年度	
		1Q	上期見通し	1Q	上期	下期	上期	下期
(百万円)								
新築 (建物) ・ リフォーム	期初受注残	139,200	-	164,300	164,300	147,200	185,000	186,900
	伸び率	▲15%	-	▲11%	▲11%	▲21%	±0%	▲3%
	新規受注	96,667	206,480	90,412	191,755	201,270	203,360	194,835
	伸び率	+7%	+8%	▲6%	▲6%	+3%	+1%	▲2%
	売上高	92,444	205,525	91,712	208,855	209,270	201,460	217,435
	伸び率	+1%	▲2%	+6%	+4%	▲4%	+4%	+5%
	期末受注残	143,400	140,200	163,000	147,200	139,200	186,900	164,300
伸び率	▲12%	▲5%	▲17%	▲21%	▲15%	▲3%	▲11%	

3. 住宅着工戸数		2024年度		2023年度		
		1Q	上期見通し	1Q	上期	下期
(戸)						
住宅着工戸数		208,000	402,000	207,826	415,307	384,869
上記のうち持家+分譲戸建着工(=A)		84,600	163,500	93,358	188,227	165,010
当社戸建販売棟数(=B)		1,785	4,150	1,915	4,400	4,070
当社シェア(=B/A)		2.1%	2.5%	2.1%	2.3%	2.5%

\*2024年度1Q以降の“住宅着工戸数”と“上記のうち持家分譲戸建着工”は見通し

4. スマート系仕様装着比率		2024年度		2023年度		
		1Q	上期見通し	1Q	上期	下期
太陽光発電搭載		91%	91%	91%	91%	90%
蓄電池搭載比率		88%	88%	86%	87%	87%

\*新築戸建（太陽光は北海道除く）に占める比率。受注ベース

# 各種実績データ

■ 売上高 (億円)	2024年度				2023年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
高機能P	1,106	-	-	-	961	1,042	1,060	1,066	991	1,024	979	970
住宅	1,162	-	-	-	1,210	1,438	1,267	1,381	1,157	1,445	1,290	1,482
環境LL	525	-	-	-	513	584	598	653	501	603	592	647
メディカル	223	-	-	-	205	232	237	253	206	223	224	244

■ 売上高 (億円)	2024年度				2023年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
エレクトロニクス	157	-	-	-	126	148	142	137	157	129	131	116
モビリティ	587	-	-	-	489	550	574	578	432	493	486	502
インダストリアル	266	-	-	-	243	249	241	254	267	271	252	254

■ 売上高 (億円)	2024年度				2023年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
液晶向け	48	-	-	-	47	49	48	45	58	37	41	42
非液晶向け	109	-	-	-	79	98	95	93	99	92	90	73
非液晶比率 (%)	70%	-	-	-	62%	68%	66%	67%	63%	71%	69%	63%

■ 売上高 (億円)	2024年度				2023年度				2022年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
N-HPP中間膜 販売量 対前年伸長率 (%)	112%	-	-	-	98%	102%	107%	103%	98%	119%	102%	98%

\*22年度および23年度は区分変更前の高機能中間膜の実績。24年度より N-HPP中間膜

# 各種実績データ

インダストリアル分野		2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
省力化製品		59	-	-	-	49	52	48	56	60	56	48	53
環境対応製品		19	-	-	-	17	21	20	22	19	19	21	21
住宅		2024年度				2023年度				2022年度			
■営業利益（億円）		上期		下期		上期		下期		上期		下期	
住宅		-		-		67		79		95		112	
リフォーム		-		-		40		42		36		43	
その他		-		-		22		26		17		27	
環境LL		2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
パイプ・システムズ		268	-	-	-	253	296	301	291	257	298	295	286
住・インフラ複合材		182	-	-	-	184	200	205	197	173	208	209	204
インフラリニューアル		59	-	-	-	55	70	72	140	50	69	59	127
環境LL		2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）		上期		下期		上期		下期		上期		下期	
重点拡大製品（国内）		-		-		195		265		190		243	
海外		-		-		195		199		222		195	
メディカル		2024年度				2023年度				2022年度			
■売上高（億円）		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
検査国内		76	-	-	-	76	80	87	80	78	73	81	77
検査海外		112	-	-	-	94	100	112	120	89	104	106	112
医療		35	-	-	-	36	52	38	53	39	45	37	55

**SEKISUI**